

市民生活

災害時における避難所運営について



災害時の避難所運営は

問 避難所運営委員の訓練実施状況は。

答 避難所は、鶴ヶ島市避難所運営マニュアルなどに基つき、地域住民、市職員及び教職員が協働して開設し、運営する。そのため、地域住民が主体で訓練内容を協議し、地域と行政が一体となった避難所開設・運営訓練を実施している。

問 市総合防災訓練について。

答 今年度は、11月24日に杉下小学校で杉下小学校区域の自治会や杉下地域支え合い協議会の多くの地域住民のほか、防災関係機関の参加があった。自助・共助・公助それぞれの防災力向上を目的とした各種訓練を実施した。今後も自助・共助・公助の重要性を周知し、課題を検証して、更に実践的で効果的な訓練となるよう努める。



たかしの
高篠 雅洋
議員



市民生活

市民生活の今後の安心について



防犯カメラ付自動販売機

問 市民との防犯情報の共有及び周知は。

答 広報や防災行政無線などを活用し、情報発信を行っている。広報で毎年特集ページを設け、近年では侵入強盗や特殊詐欺などの情報を周知している。また、オレオレ詐欺や還付金詐欺の予兆電話など、緊急性の高い情報は、SNSや防災行政無線で発信している。

問 特殊詐欺犯罪について。

答 高齢者を狙った犯罪が多発しており、啓発を強化する必要がある。防犯パトロールを実施し、オレオレ詐欺の被害防止などのアナウンスを強化している。また、特殊詐欺の予兆電話などを防災行政無線で周知している。ほかにも、年金支給日に商業施設のATM付近などでチラシや啓発品を配布している。今後も高齢者を守る防犯の取組に努める。



たかしま
瀧嶋 正紀
議員



市民生活

交通安全対策について



交通安全対策は！

問 交通事故防止対策について。

答 第6次鶴ヶ島市総合計画の施策に交通安全対策を位置付け交通事故の起こりにくいまちを目指している。交通安全団体や警察などと連携し、交通安全教育と啓発運動を推進している。また、区画線や啓発看板の設置などで安心安全な交通環境の整備も推進している。

問 交通安全対策に対する要望とその改善は。

答 交通断歩道などの設置や「スピード落とせ」のような啓発看板の設置要望などがある。要望を受け、その都度、現地に赴き、状況を精査し、関係機関と連携して実施可能な対策を講じている。交通規制に係る要望は、警察内部の基準に基づき判断されるため、実施の有無も警察に委ねられる。それ以外は、状況に応じ市でその都度対応している。



こしま
小島 幸広
議員

